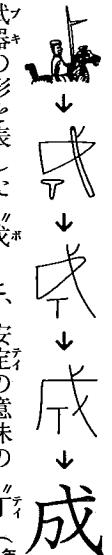


成

四年
画数 6
成の立ち

武器^{ブキ}の形を表した「戌」と、安定^{テイ}の意味の「丁」(3年 372)
「釘^ケで打ちつけて安定させる」と組み合わせて作った字です。



「武器を使つて世の中を安定させる」という意味の字で、「手向かう敵^{アキ}を『平らげる』ことを表したもので、「なしとげる」こと。**例**成就、成功。

また、「できあがる」という意味にも使われます。**例**完 成、成熟。

「成の音は『丁』の転化したもの。セイは漢音、ジョウは吳音である。「戌」は「矛」と同音同義である。」

省

四年
画数 9
筆順：ノ 小 少 省
クン セイ・ショウ
カエリリミル・ハブリく
成り立ち



「少ない」という意味の「少」と、「目」という字を組み合わせて作った字です。

「目に入るものを少なくする」という意味の字で、ひとつやでない物を「はぶ」いて、かんたんにすることを表した字です。**例**省略。

物を「はぶく」時には、よく見、よく考えなければなりません。それで、「よく見、よく考える」という意味の「かえりみる」という意味にも使われます。**例**反省、内省。「故郷^{コカヨ}に帰り、両親のようすを見る。」ことの意味にも使われます。**例**帰省。

また、国の役所の名前に使われます。**例**文部省、大蔵省。

便い方

△「為せば成る。為さねば成らぬ、何事も。成らぬは人^{ひと}の為さぬなりけり」ということばがあります。「やろうと思えばできる。できないというのは、やる気がないからだ」という意味です。じつさい、たいていのことは、やろうと思えばできるのです。

熟語例

△成功（目的^{もくてき}を成しとげること。「見事に実験^{ジヤクエン}に成功した」などというふうに、つかいます。）

△完成（完全にできあがること。「ビルの工事が完成した」などというふうに、つかいます。）

△成長（作物^{さくさ}などができあがつて、熟^{シユク}すること。また人間^{あたま}が、十分に成長すること。「木で成熟した木のは、青いうちにつんだのより、ずっとおいしい」などといふうに、つかいます。）

△成熟（作物^{さくさ}（あお）うに、つかいます。）

△成長（育つて大きくなること。おとなになること。）

便い方

△省略（省^{はぶ}いて、かんたんにすること。「この文章^{ブン彰}は、ずいぶん言葉^{ことば}を省略してあるが、意味は良くわかる」などというふうに、つかいます。）

△反省（自分の行いや態度^{ナヒヂ}に悪い所^{ところ}がなかつたか、省みること。）

△内省（自分の心^{こころ}の中や行いなどを、ぶり返^{かへ}つて、よく考^かえること。「反省」とほぼ同じ意味です。「内省的^{ブンショクテイ}な性格^{セイカク}」というふうに、つかいます。）

△帰省（両親のようすを見るため、故郷^{コカヨ}に帰^かること。「今年も、帰省する人たちで、交通機関^{こうつうきかん}はごつた返^{かえ}したなど」というふうに、つかいます。）